

プロジェクトの要約	指標	指標入手手段	主な外部条件
スーパーゴール:「子どもの発達を支援する指導法(以下「指導法」)がモンゴル全土に普及する。			教育政策が変わらない。
上位目標: 「指導法」が、モデル県(ウランバートル市、ドルノド県、セレンゲ県)において普及する。	-新指導法を実践する学校数 -新指導法を実践する教員と生徒数	教育省によるフォローアップ調査	
プロジェクト目標: 「指導法」が、基礎教育の新スタンダードに応じて開発される。	4つのセンターの教育省、教育研究所、モデル県の教育局と協力して指導書の開発、試行、モニタリングの実施	プロジェクト事業完了報告書	教育省が「指導法」とその普及を支援する。
成果ア:「指導法」がモンゴルの状況に合わせて研究され、開発される。	4つのセンターを中心として開発された指導書	-プロジェクト事業完了報告書 -指導書	1.ワーキンググループが継続的に指導書を開発する。
成果イ:開発された「指導法」が県指導主事、教員等によって、学校現場の現状に合うように改善される。	1 教育現場の状況に応じた指導書の開発 2「指導法」検討会の定期的な実施	-プロジェクト事業完了報告書	2.4つのセンターが指導法開発に従事する。
成果ウ:モデル校において、学校現場に応じた「指導法」が試行される。	1「指導法」を実践している授業数の増加 2 教員の子どもに対する姿勢の改善 3 子どもの態度及び能力の改善	-プロジェクト事業完了報告書	
成果エ:「指導法」の導入及び継続的实施のためのモニタリング手法が開発・実施される。	1「モニタリング法」の開発 2 モニタリングの定期的な実施	-プロジェクト事業完了報告書	